

## Topics

- ✓ 設置例・施工例写真大募集!
- ✓ H.C.R.2025 出展します!
- ✓ あすにゃんぬりえコンテスト 結果発表!
- ✓ 作業療法士からみた生活改善
- ✓ 建築から見るデザイン紀行

etc...

好評企画  
第8弾!

福祉用具手すり

設置例

一般新築・リフォーム  
介護保険住宅改修

施工例

# 写真大募集

キャンペーン実施中!

11月30日(日)まで

マツ六の商品を使用した設置例・施工例写真はございませんか?  
大規模リフォームはもちろん、手すり1本だけでも大歓迎!  
ぜひ、あなたの自慢の現場を披露してください!



応募  
特典  
あり!

特典の内容や詳しい募集要項、ご応募はコチラから

<https://event.mazroc.com/bosyu/photo>

Check!



## H.C.R.2025 第52回 国際福祉機器展&フォーラム

# 出展します!

10月8日(水)~10日(金)まで

10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

東京ビッグサイト 西・南展示ホール

小間番号

南3ホール S-5054

Web展も開催中! ~11月7日(金)まで

H.C.R.2025 Webサイト 特設サイト内



※イメージです

新商品など  
多数展示  
予定

皆様のご来場をお待ちしています

## あすにゃんぬりえコンテスト

~雨の日のおうち時間も、あすにゃんと一緒に楽しく過ごそう~



# 結果発表!

入賞作品は  
こちらから

※9月上旬公開予定



2025年6月1日~7月31日にかけて実施しました「あすにゃんぬりえコンテスト」に多数のご応募をいただき、ありがとうございました。厳正な審査の結果、各賞が決定しました。

<https://event.mazroc.com/asunyan-nurie/kekka>



社会・生活環境研究所  
作業療法士  
二級建築士

山田 隆人

## 住宅改修を行う過程で リハビリテーション職種との連携を取る方法

令和6年に「介護給付費適正化における住宅改修等の点検および福祉用具購入・貸与調査の取組促進に向けた手引き」が提示されました。そこには、市町村が住宅改修の工事内容を確認する際に、「身体機能や認知機能が大きく変化する可能性も考慮し、現在の利用者の状態像と住宅改修のタイミングが合致しているかについて検討することも必要です。」との記述があります。更に、住宅改修のタイミングの判断については、特に専門的な知識が



図1)リハビリテーション専門職などの専門職との連携体制

必要となるため、全件ではなくとも、リハビリテーション専門職などの専門職との連携体制づくりが望まれるとしています(図1)。

これらは、住宅改修を検討・実施する際にも同じことがいえると思います。しかし、リハビリテーション専門職との連携体制づくりは、2008年の調査及び、2015年の住宅改修が必要な理由書を分析した調査においても課題として挙げられています。

職場にリハビリテーション職種が勤務していれば、相談する体制づくりは可能かと思えます。しかし、リハビリテーション職種が勤務していない事業所も存在します。その場合、地域包括支援センターとの接点を活かして、訪問リハビリテーションを行っている事業所等の情報を得ることができそうです。更に、市区町村や医師会・介護支援専門員連絡協議会が主催する研修会などで、情報を得ることが可能と思われる。

連携できるリハビリテーション専門職との出会いがあれば、あとは仕事としての関係づくりが求められます。1つの例を挙げると、介護保険サービスの「訪問リハビリテーション」として、自宅での生活動作や環境評価の一環として住宅改修に関わってもらうことが可能と思われる。更に、住宅改修後にフォローアップとして訪問してもらうことも可能かと思えます。仕事として依頼することで、継続した連携体制の構築が可能になると思います。

参考文献

- 厚生労働省老健局:介護給付費適正化における住宅改修等の点検および福祉用具購入・貸与調査の取組促進に向けた手引き, 令和5年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)自治体における福祉用具・住宅改修の適正化施策等の取組促進に向けた研究事業, <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/tuuti1744.pdf>, 2024
- 上村智子:介護保険給付の住宅改修における設備使用の継続性や安全性の課題, 作業療法, 28(2), 150-156, 2009
- 土屋福見子,北村智美, 太田智之, 服部真治:介護保険制度の住宅改修における「住宅改修が必要な理由書」を用いた記述的研究:要介護度と理由書作成者の職種による違いの検討,日本公衆衛生雑誌, 72(7), 495-505, 2025

建築から見る

## デザイン紀行 9

～過去から現在そして未来へ～



Fuori Salone 2025 -part2-  
(イタリア・ミラノ)

国際家具見本市ミラノサローネの期間中、ミラノ市街地で行われているフォーリサローネ。様々なブランドの家具が華やかに街を彩る中、普遍的な輝きをみせていたスイスのモジュラー家具ブランド「USM」。

USMは140年前に銃前業・金属加工業としてスタート。その後、丁番や建具金物の製造を経て、1965年に現在のアイコンとなるモジュラー家具システムを発表しました。

それから現在に至るまでの60年間、デザイン・基本構造を変えずにプロダクト、ソリューションを提供してきました。その普遍的なデザインは、時代という概念をも超越した価値があり、その時々ニーズに合わせ機能拡張をし、進化してきました。

特に優れた点は、新しく追加されたユニットと従来のユニットとの互換性があるということ。そのため、時が経てもユーザーのニーズの変化に合わせて再構築することができます。



USMのフォーリサローネの展示で特に目にとまったのは、バスシステム。アイコンとなるボールジョイントとスチールパネルの組合せで、浴槽、洗面、浴室関連アイテムを構成していました。基本ユニットを組合せていだけで、収納から書斎、ベッド、バスシステムまで様々なプロダクトや空間を生み出すことができます。

60年間アイコン的な外観は変わらずとも常に進化し続けるUSM。モジュラー家具の可能性は無限大であると感じた展示でした。



未来を変える一歩を  
いっしょに。

たよれールシリーズ

MOTOE  
モトエプロジェクト

地球に優しい福祉用具の  
サーキュラーエコノミー。



福祉住環境  
コーディネーター  
の答え: ②作業療法士

マツ六公式SNS  
更新中!



Instagram ▶ @mazrocofficial  
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/  
YouTube ▶ @mazrocsho

